

2017 第1回 普及・指導者養成講座 開催レポート

●開催日時 平成29年 6月3日(土) ～6月4日(日)

●場所 栃木県 宇都宮市 道の駅ろまんちっく村
栃木県宇都宮市新里町丙254番地

●講座日程 平成29年6月3日(土)
10:30～11:00受付
11:00～15:00実技講習①
16:00～18:00講義①
18:00～18:45夕食
19:00～20:00講義②

平成29年6月4日(日)
9:00～13:00実技講習②
13:00～15:00実技講習③
終了後解散



平成29年度、第1回目の普及・指導者養成講座を開催いたしましたので報告させていただきます。

会場は初めて講座で使用する、栃木県の宇都宮市にある道の駅ろまんちっく村にて開催いたしました。

この道の駅ろまんちっく村は、市の農営公園として地元民に親しまれている施設で、近年道の駅として再整備がされた場所です。

このろまんちっく村には、施設内に地元の愛好者たちで管理するマウンテンバイク・コースが常設で有り、今回此方を会場として講座を開催いたしました。



6月3日(土)

実技講習①

初日の実技講習は、今回の受講者に私たちインストラクターが普段から行っているスクールを体験して頂く中で、各課題のティーチング・ポイントを説明する形で進めました。

目の前のセクションをクリアする事だけを考え、難しいコースを挑戦している受講者の傍で、インストラクターが適切な助言でアシストするスクールの形を体験して頂けたと思います。

普段から自転車に乗る機会が多い受講者の皆さんも、普段のスクールより難易度の高いコース設定で、中々思うように行かなかった様ですが、ライドの楽しさや奥深さを感じていただけたのではないかと思います。

講義①②

実技終了後の講義では、内容をライドスキルの向上を目的とした昼間とはガラリと変え、国内及び国際的なマウンテンバイクを取り巻く環境の現状と自分たちが今やれることをテーマに、受講者の皆さんでディスカッションをして頂きました。

楽しく面白いマウンテンバイクといったツールを使った遊びも、今後の環境次第ではライドする場所に困る状況にもなりえます。
よって、今後のMTBシーンを牽引する指導者には、そんな危機感の共有や正しい知識を持ってもらうことは、必然的な事と考えています。

マウンテンバイクは楽しい乗り物ですが、それをずっと楽しむためにはどうすれば良いか？ 難しい題材ですが受講者の皆さんは真剣に考え、発言されていたのが印象的な座学でした。



6月4日(日)

実技講習②

2日目の実技講習は、今回の受講者がスクール講師として実際にレクチャーを実施して、指導ポイントの確認を行いました。

普段のライドと違い、教えるためのライドはアクション一つを取ってみても、いつもよりオーバーに表現しなくては、中々伝わりにくいものです。

教える事や表現の難しさを感じつつ、どのように進行していけば判りやすく、かつ楽しいスクーリングが出来るのか、試行錯誤しながらも頑張っていました。



6月4日(日)

実技講習③

午後の実技は、実際にトレイルに移動してのレクチャーとしました。

今後受講者の皆さんが行うことも考えられる現場でのスクーリングは、実践的で指導者にとって必要となるスキルと考えています。

刻々と変わるライド環境で、どのようなレクチャーが出来るのかを実際に行い体験して頂く事で、今後のレクチャーの幅を広げる種にして頂ければ良いなと考えています。



以上、2日間の普及・指導者養成講座でしたが、この短い講習であっても受講者の皆様にとって、今後各地の活動場所に戻ってからの活躍のお役に、少しでもなれる講座にすることが出来ていればと、講師一同思っております。

ご参加の皆様の今後のご活躍をご期待しております。

以上、報告まで。

日本マウンテンバイク協会
普及・指導委員長 亀和田 大